

女性の活躍促進に向けた

信州大学の目標と取組を策定しました！

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が制定されました。これにより、労働者301名以上の大企業は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられ、本学では以下のとおり取り組むことを決定しました。

本学の目標

目標1 採用した常勤教員に占める女性教員の割合を20%以上にする。

目標2 女性教職員の管理職比率を10%以上にする。

取組内容・実施時期

平成28年4月～

女性教員を増員するため、学術研究院会議等で女性教員を積極的に雇用するよう、各学部等に協力を依頼する。

女性の採用割合を増やす方針や各部局ごとの目標値を設定する。

また、女性管理職の登用に関する課題解決に向けた方針について検討する。

平成28年8月～

女性の活躍推進に係る意識啓発を目的とした管理職FD研修やシンポジウム等を実施する。
女性教員応募者増加を目指した情報提供の強化を図る。

平成28年9月～

長期的な人事計画案を策定する。

女性リーダーとしての立場、役割を理解し、管理職・リーダーとなるためのマインド醸成を目的とした研修を実施する。

平成29年3月～

新規に採用した女性教職員数及び年度末の女性教職員比率情報を共有し、以後フォローアップ・ヒアリングを実施する。

計画期間

平成28年4月1日～平成31年3月31日

本学の課題

- (1) 常勤教員に占める女性教員が少ない。
- (2) 自然科学系の女性教員数が特に不足している。
- (3) 女性教職員の管理職割合が低い。

厚生労働大臣の認定を得るため、本学も励んでまいります！

女性の活躍推進に関する取組の実施状況などが優良な事業主は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし」▶

「L」には、Lady(女性)、Labour(働く、取り組む)、Lead(手本)など様々な意味があります。「円」は企業や社会、「L」はエレガントに力強く活躍する女性をイメージしています。



(1段階目)



(2段階目)



(3段階目)

学長と女性教職員の懇談会を開催しました。

平成28年2月23日(火)、松本キャンパス本部管理棟5階第2会議室において開催された懇談会には、松本キャンパスをはじめ、長野、上田、伊那の全キャンパスから10名の女性研究者、3名の女性職員が出席しました。

濱田学長の挨拶、松川理事の挨拶に続き、松岡男女共同参画推進室長をファシリテーターとして、参加者の自己紹介から始まりました。



主な意見・提案

育児等との両立を支援する制度の整備

- 研究補助者制度は財政が厳しいと思いますが、今後も資金を確保し、継続していただきたいです
- 病後児保育の他に、病児保育もあればいいなと思っております
- 学童保育を実施してほしいです
- 会議は勤務時間内に設定してほしいです
本部は5時以降に設定されていません(学長)

育児休業等取得に係る業績評価

- 業績評価にライフイベントに従事したことを配慮してほしいです
テニュアトラック制度には明確に書いています。一般の教員の制度には明記されていないので、徐々に変えたいと思います(学長)

役員への女性の参画

- 役員に女性を登用してほしいです
平成28年4月1日付で女性の理事と監事の2名が就任予定です(学長)

意識啓発の推進

- 男性に子育て・介護に参加してもらうためにはどうしたらいいのか考えていけたらと思います

- 意識啓発について、執行部の意識レベルはどのくらいだと感じていますか
全体としては高いほうだと思います(学長)

理系等女性教員数の拡大

- 理系の女性教員増加の方策を考えていただきたいです。女子学生のロールモデルとなる女性教員を増やしてほしいです
- 前学長の際に実施していた女性教員比率目標の設定を行う予定はありますか。また、具体的な数値目標をどのくらいにお考えですか
女性教員比率の目標は考えておりません。採用比率の目標を定めました(学長)

その他

- 1月に今年度で雇用計画が更新されないと発表され、今後どうするか考えています。



- 来年度、男女共同参画に関する講義「キャリアビジョンと男女共同参画」を9名で分担開講いたします。ご興味のある方は今後の講義分担を考えていただけたらと思います(室長)

平成28年1、2月の連携



「デートDV」上映

主催：長野市・信州大学

平成28年1月28日(木)

教育学部3年生対象に、「デートDV」をテーマにしたビデオ上映他。「人として相手のことを思い、尊重しなければいけないことを学んだ。」等の感想がたくさんありました。



平成27年度企業経営者研修会

主催：長野市企業・人権教育推進協議会

平成28年2月12日(金)

松岡英子室長が「男女共同参画と多様な人材の活躍」について講演。企業経営者、人事担当者など、約80名が参加しました。

しなのきフォーラム

主催：長野市地域女性ネットワーク

腹話術ショーと講演会 ～すべての人が輝くために～

主催：立科町男女共同参画推進委員会・公民館女性部

平成28年1月30日(土)

立科町老人福祉センターにおいて、松岡英子室長が「男女でつくる元気な立科町」を演題に講演し、本学の取組も紹介しました。



平成28年2月20日(土)

勤労者女性会館しなのきホールにおいて、「何を怖れる—フェミニズムを生きた女たち」上映会と、松岡英子室長、松井久子映画監督、中島恵理長野県副知事のトークセッション「次の時代に何を伝えるか」がありました。



大学入試センターにおける、教職員のお子さんの一時保育を実施しました。

平成28年1月16日、17日の両日に行われた大学入試センター試験の際に、試験業務等に従事する教職員のお子さんを預かる一時保育を松本キャンパスと、長野(教育)キャンパスの2か所で行いました。

松本キャンパスでは、教職員6名(子ども延べ12名)、長野(教育)キャンパスでは、教職員4名(子ども延べ12名)の利用がありました。

平成28年度(4月～9月期)

研究補助者制度の利用者が決定しました。

男女共同参画推進室では、本学の研究者が、出産・子育て・介護と研究の両立ができるよう支援するために、研究補助者を配置する制度「研究補助者制度」を実施しています。平成28年度(4月～9月期)も希望者を募集し、厳正な審査のうえ利用者を決定いたしました。

選考結果 利用者13名(男性2名、女性11名)

繊維学部長 教育学部長 インタビュー

平成27年10月1日付で新しく繊維学部長に就任された下坂先生と、平成28年1月1日付で新しく教育学部長に就任された永松先生に、それぞれの学部での男女共同参画やこれからの課題等について松岡室長がインタビューしました。

繊維学部長インタビュー

繊維学部の男女共同参画について



しもがま まこと
下坂 誠 繊維学部長

本学部は女性教員の割合が非常に低いです。現在3名の女性教員がいます。極めて女性研究者が少ないことはもったいないので、増加に努力していきたいと思っています。また、本学部は女子学生の割合が約25%です。その中には将来研究者に向いている女子学生もいますが、大学院に残るのを諦めたり、大学院に残っても就職して研究を諦めたりする人も多く、もったいないなと思います。力を発揮できずにいる女性がいるというのは損失です。結婚や出産などのイベントが男女等しくあり、夫婦で協力し合うことが理想ですが、社会の状況も厳しいです。

子育てと研究を両立されている先生が、毎朝自転車車で保育園へ預けに行かれるのを見て、子育てががんばっているなと思います。私も子どもとはできるだけ一緒にいたいと思い育児を率先して行って、良い経験ができました。なので、若い先生方を応援してあげたいと思っています。

これからの課題等について

女性教員を増やしたいです。各学科に1人でも女性教員が在籍していれば、研究者志望の女子学生の相談相手になり、ロールモデルにもなると思います。また、オープンキャンパスでは女子高校生の見学も多いですが、説明者が男性ばかりなので、女性研究者や先輩がいると女子学生の増加に繋がると思います。2年後に退職の先生が多くいらっしゃるので、大きくチェンジできるチャンスと考えています。女性が増えて元気になってくれば、男性もまた元気になると思います。男女双方が生き生き働けるような学部になっていくのが理想です。

大学全体では教職員の人数が多いですが、隔地学部となると人数も少なく、育児休業の代替要員の配置が難しいです。松本キャンパスではやれることも上田キャンパスではやりにくいところもあるように感じます。人員が少ないために、代わりがないから休業できないと考えている方も多いです。学系組織になり、代替要員が大学全体から配置されるといいですね。男性も女性も働き甲斐のある職場というのが一番好ましい姿です。



教育学部長インタビュー

教育学部の男女共同参画について



ながまつ ゆうき
永松 裕希 教育学部長

そもそも女性研究者の割合の低さは日本の大学が抱えている課題で、本学部も同様です。そこを改善していく取組は、これまでと同様に積極的に働きかけ、継続していきたいと思っています。ただ現状として、女性研究者の割合を増やす対策が非常に少ないので、実現が難しい状況にあります。しかし、教授職や管理職において、女性の割合が低い部分は、工夫と努力によって改善できると思います。女性の採用の増加は学部内の会議で話題となっていますが、「信州大学教育学部は女性を求めています」ということを知っていただけるように、これまで以上にポジティブに女性採用の取組を行わなければなりません。

現在本学部でも育児と研究を両立されている先生がたくさんいらっしゃいます。その方たちを見てみると、同世代の先生同士でカバーし合っている感じやがんばっているなと感じます。個人的な厚意では限界があるので、もう少し大学としてしっかり仕組みができれば、もっと安心して子育ても研究もできるのかなと思います。

これからの課題等について

将来を見越して、女性研究者が研究しやすいような環境整備を行うべきだと思います。そして、男女の問題だけではなく、ダイバーシティをどう実現していくかも重要です。同じ土俵で仕事ができる環境をどう整えていくかが大きな課題で、先導的に大学という組織がダイバーシティを目指し、力を注いで取り組まなければならないと思っています。また女性は働きにくさを背負いながら仕事の業績を求められていることを、男性研究者が理解することが重要だと思います。男女共同参画の企画も、男性研究者が参加したいと思うような意識を持っていくといいと思います。

本学部の卒業生は、子どもたちの教育に関わる人が多いです。裾野部分は学校教育が担っているところなので、学生たちに男女共同参画の意識を育てることは本学部の役割であり、本学部だからこそ取り組まなければならないことだと思います。教育から社会全体を変えていく必要性があるのは間違いありません。その一端を担うのはこれから教師になる君たちだというメッセージは、いろいろなところで学生に伝えていかなければならないと思っています。教育学部だけが担える、次の子どもたちの世代に伝えるメッセンジャーとしての役割かなと思います。



■ 刊行物・発行物のお知らせ



ロールモデル集 vol.4 「輝け☆リケジョ！」

4冊目のロールモデル集を発行しました。今回は理系学部の教職員にリケジョを語っていただきました。また大学院生の座談会を開催し、研究者を目指す学生の本音を掲載しています。学生・若手研究者をはじめ、多くの方々にご覧いただきたい内容となっております。



平成27年度活動報告書

本学における男女共同参画の現状、実施状況をまとめた「信州大学男女共同参画推進室平成27年度活動報告書」を発行しました。



セミナー開催報告

平成27年11月11日(水)に開催した、男女共同参画セミナーの講演内容や質疑応答、アンケートをA4版8ページにまとめました。

○ご希望の方は男女共同参画推進室までお問い合わせください。



授賞式で表彰状を受け取る白神さんと住友生命保険相互会社 橋本雅弘 取締役代表執行役社長

■ 地域戦略センター研究員 白神晃子さん「住友生命 未来を強くする子育てプロジェクト『スミセイ女性研究者奨励賞』」受賞おめでとうございます。

本学地域戦略センターの研究員、白神晃子さんが「スミセイ女性研究者奨励賞」を受賞し、平成28年2月22日に授賞式が行われました。この賞は、育児のため研究の継続が困難となっている女性研究者および、子育てをしながら研究を続けている女性研究者に、研究環境や生活環境を維持・継続するための助成金を支給し、人文・社会科学分野における萌芽的な研究の発展に期待するものです。第9回目となる今回は全国で123名が応募し、そのうち10名が表彰され、本学からは初の受賞となりました。受賞した研究タイトルは「地域における障がい児者および関係機関の防災意識と災害時対策」で、今後の2年間助成金が支給されます。



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

娘が1歳4ヶ月を迎えた時より職場復帰しました。娘は大学内のおひさま保育園でお世話になり、私は短時間勤務制度を利用しています。限られた時間内で業務を行うことは大変ですが、職場の皆さんのご理解のお陰で、なんとか勤めることができています。



帰宅後の我が家は大騒ぎで、娘を夜9時までに布団に入れるべく、夕食⇒お風呂⇒歯磨きをいかにスムーズにこなすか、日々格闘しています。格闘の結果、娘の最近の口癖は「怒ってない?」になってしまいました…。休日は、平日一緒に遊べない分、できる限りお弁当を持って外で遊ぶようにしています。

小坂 絃子 係員 | 理学部 総務グループ



家族構成

夫（信州大学勤務）
娘（2歳11ヶ月）

お子様からの呼ばれ方

おかあちゃん（おかあさん）

4月からは、私が通常勤務となり、娘も市立の保育園に入園するため、環境が変わり忙しさも増えますが、優しい母になれるよう、精神面を鍛えなければと思っています。有り難いことに、夫は家事や育児にとっても協力的なので、ますます夫の頑張りに期待します。

6月から再び産休・育休に入る予定です。職場の皆さんには度々ご迷惑をおかけすることになり、負い目を感じていますが、快く受け入れてくれる皆さんに感謝し、再び復帰した際には、仕事と育児と家事を頑張っていこうと思っています。



次回はこちら！ 布目 久夫主任 医学部附属病院医事課医事係



お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進室 (SuFRe)

松本分室 〒390-8621 松本市旭 3-1-1
(総務部人事課内) TEL 0263-37-2167 内線 811-2127 FAX 0263-37-3314

長野分室 〒380-8544 長野市西長野 6-0
(教育学部内) TEL/FAX 026-238-4048 内線 831-4048

開室時間

9:00 ~ 17:00 (月~金)
E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp

信州大学 スフレ 検索